

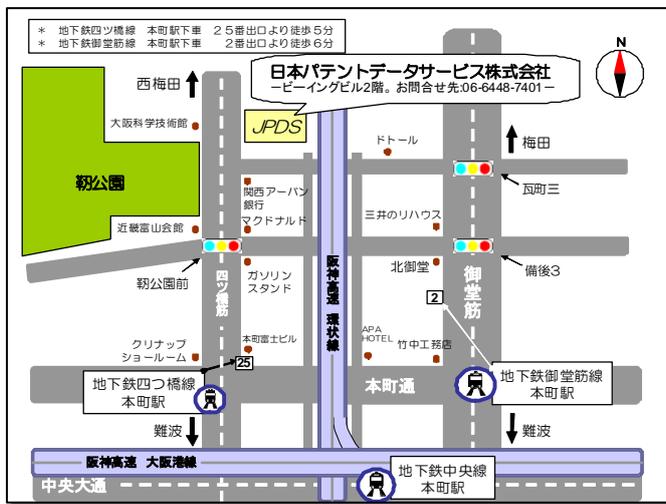
実例で学ぶ、特許調査、情報活用の勘どころ

研究開発時における特許情報の有効な活用法を紹介
 実習を通して特許調査、情報の整理と加工ノウハウを学ぶ



入門 ← レベル → 上級

当コースは、検索式の立案、必要情報のチェック、調査結果のまとめ、といった特許調査の一連の流れを実際に体験していただきながら、調査ステップの勘どころを押さえます。研究開発、事業開発の現場で、特許情報の有効活用、研究効率の向上を目指したい方、あるいは、研究者、技術者の方達に社内教育をされたい方にお聞きいただきたい内容です。



講師：佐々木 眞悟

元 日本ガイシ(株) 法務部 知的財産企画グループ

場所：当社大阪営業所セミナー室

大阪市西区靱本町1-7-18

ビーイングビル2F

TEL:06(6448)7401 FAX:06(6459)4588

時間：1日間コース (10:00~16:30)

受講料：20,000円 (税別)

定員：20名 (先着順申し込み)

日程：11月27日 (金)

【申込方法】 FAXまたはeメールでお受けいたします。FAX: 03(5512)7810 メール: chizai-semi@jpds.co.jp (受講票をメールまたはFAXにてお送り致します。5営業日以内に届かない節はご一報ください。)

【キャンセル】 セミナー開催日前10日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。但し、講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

お申込日 年 月 日

「実例で学ぶ、特許調査、情報活用の勘どころ」(大阪) 申込書

日本パテントデータサービス株式会社 知財研修部 行 (FAX: 03-5512-7810)

| | | | | | | |
|--------|---|--|----|-----|-------|--|
| 会社名 | | | | 部課名 | | |
| 住所 | 〒 | | | | | |
| TEL | | | | FAX | | |
| 参加希望日: | <input type="checkbox"/> 11月27日 | | | | | |
| 受講者氏名 | | | 所属 | | | 特許検索経験 <input type="checkbox"/> 有(年) <input type="checkbox"/> 無 |
| E-mail | | | | | 弁理士番号 | |
| 受講者氏名 | | | 所属 | | | 特許検索経験 <input type="checkbox"/> 有(年) <input type="checkbox"/> 無 |
| E-mail | | | | | 弁理士番号 | |
| 支払方法 | <input type="checkbox"/> 単独請求書・銀行振込 <input type="checkbox"/> 当日現金 <input type="checkbox"/> 合算請求(お取引コード:) | | | | | |

備考： ※弁理士の方は弁理士(登録)番号をご記載ください。(本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。)

セミナースケジュール（実例で学ぶ、特許調査、情報活用の勘どころ）

| | |
|-------|--|
| 10:00 | 講師ご紹介 |
| 10:05 | (1) 出願前調査の勘どころ <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアのドンピシャ検索で調査の基本テクニックをマスター ・ハイライトヒットワードで特定情報を一発検索 ・特許分類を知ると技術が見えてくる ・全体傾向はパテントマップ集計が使える ・サイテーションマップで関連情報がゾロゾロ ・出願前調査—どういう出願にするか？ 出願戦略を考えながら調査する |
| 11:45 | 昼休憩 |
| 12:45 | (1) のつづき |
| 13:30 | (2) 練習問題で理解度チェック |
| 14:50 | 休憩 |
| 15:00 | (3) SDI と Watching の勘どころ <ul style="list-style-type: none"> ・特定テーマの収集はSDIで ・問題特許は含まれるか？ SDI式の妥当性チェック ・ノイズ（不要情報）は少なく、ヒット（適合情報）は多く ・配信されたSDIの賢いチェック方法 ・何を Watching すべきか、対策をきちんと行うルールとシステム作り |
| 15:30 | (4) 特許情報活用現場での勘どころ <ul style="list-style-type: none"> ・自分ですか、人に頼むか ・知財部門の利用方法、外部業者の利用方法 ・調査依頼書と調査報告書 ・これは使える特許調査の有用サイト ・マップソフトは使い物になるか ・質疑応答 |
| 16:30 | 終了 |

【備考】

- ・ データベースは「JP-NET」を各人1台のパソコンを使用しての検索実習を予定しております。
- ・ 本講座はJP-NETの操作ができる方（キーワード検索ができる程度）を対象としております。
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお応えさせていただきます。